

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 東邦化学工業株式会社  
 コード番号 4409 URL <http://www.toho-chem.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中崎 龍雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 井上 豊  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東

TEL 03-5550-3735

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	8,786	—	366	—	306	—	105	—
20年3月期第1四半期	8,565	9.2	465	66.8	428	86.8	223	75.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	4.96	—
20年3月期第1四半期	10.46	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	36,678	7,651	7,651	20.7	355.78			
20年3月期	37,278	7,608	7,608	20.2	353.05			

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 7,591百万円 20年3月期 7,533百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	18,200	—	270	—	150	—	60	—	2.81
通期	37,700	5.6	900	△37.8	650	△44.8	360	△46.9	16.87

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無  
平成20年5月16日に公表しました業績予想に修正はありません。

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 21,350,000株 20年3月期 21,350,000株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 11,300株 20年3月期 10,800株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 21,338,825株 20年3月期第1四半期 21,339,580株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、米国経済をはじめとする世界経済の減速や原油価格の更なる高騰により、景気は足踏み状態から下振れリスクが懸念される状況となりました。

化学業界においても、更なる原材料価格の急騰が企業収益に対し圧迫要因となり、製品価格への転嫁の成否次第で、企業業績に大きな影響が出るのが懸念されます。

このような厳しい環境下、当社グループとしては急激な原材料コストの上昇に対し、製品価格の是正とコスト削減に全力で取り組みましたが、カバーするには至らず、収益悪化を余儀なくされました。

その結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は87億86百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は3億66百万円（同21.5%減）、経常利益は3億6百万円（同28.6%減）となりました。

また、特別損失にたな卸資産評価損を81百万円計上いたしましたので、四半期純利益は1億5百万円（同52.6%減）となりました。

#### 部門別営業の状況

##### （界面活性剤）

農薬助剤は海外向けを中心に堅調でしたが、土木建築用薬剤、紙パルプ用界面活性剤が低調で大幅な減収となり、部門全体の売上高は、前年同期比9百万円、0.2%減収の43億97百万円となりました。

##### （樹脂）

樹脂エマルションは鋼板用表面処理剤が堅調に推移、アクリレートも電子・情報産業用向けを中心に伸長しました。石油樹脂は塗料インキ用や撥水耐水用等を中心に増収を確保しました。一方、合成樹脂は断熱用関連製品が振るわず低調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前年同期比65百万円、5.4%増収の12億70百万円となりました。

##### （化成品）

石油添加剤は潤滑油用や油水分離用が堅調に推移、金属加工油剤も水溶性切削剤を中心に増収となりました。しかし、合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤の海外向け販売が減収となり、その結果、部門全体の売上高は、前年同期比7百万円、0.6%減収の12億34百万円となりました。

##### （特殊溶剤）

IT関連事業向け溶剤は前期に続き増収となりました。一方、電子・情報産業用の微細加工用樹脂は減収となりました。その結果、部門全体の売上高は、前年同期比1億71百万円、10.2%増収の18億55百万円となりました。

（注）当四半期と前年同四半期では適用される会計基準が異なっておりますが、参考情報として“前年同期比伸び率”を記載しております。（3ページ 4. その他（3）参照）

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の総資産は、前期末比6億円減少し366億78百万円となりました。その内訳は、流動資産が、現金及び預金の増加4億27百万円、受取手形及び売掛金の減少3億20百万円、その他の減少8億79百万円等により8億44百万円の減少。固定資産が有形固定資産の増加1億25百万円、投資その他の資産の増加1億27百万円等により2億44百万円の増加です。

純資産は、前期末比43百万円増加し76億51百万円となりました。また、利益剰余金は22百万円減少しております。これは、四半期純利益による増加1億5百万円と配当金の支払いによる減少1億28百万円によるものです。その結果、自己資本比率は20.7%、1株当たり純資産額は355円78銭となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の実績は、利益面で期初の予想を上回る進捗状況ですが、第2四半期は原油価格の急騰にともなう原材料価格の大幅な上昇が避けられず、一段と厳しい収益環境が予想されますので、平成21年3月期の第2四半期累計期間および通期業績予想の修正はしていません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ簿価切下げを行う方法によっております。

② 法人税等の納税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に一括して表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

これにより、売上総利益および営業利益ならびに経常利益が18百万円、税金等調整前四半期純利益が100百万円それぞれ減少しております。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,132	2,705
受取手形及び売掛金	8,793	9,114
たな卸資産	6,972	7,044
その他	814	1,693
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	19,713	20,557
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,861	4,900
機械装置及び運搬具（純額）	3,413	3,457
土地	3,322	3,322
建設仮勘定	1,339	1,112
その他（純額）	406	425
有形固定資産合計	13,343	13,217
無形固定資産	95	104
投資その他の資産	3,526	3,398
固定資産合計	16,965	16,721
資産合計	36,678	37,278

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,283	8,041
短期借入金	5,649	5,600
未払法人税等	51	143
賞与引当金	115	362
その他	3,627	4,246
流動負債合計	17,728	18,394
固定負債		
社債	3,220	2,920
長期借入金	4,680	4,905
退職給付引当金	3,271	3,305
役員退職慰労引当金	126	144
その他	—	0
固定負債合計	11,299	11,275
負債合計	29,027	29,670
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	4,315	4,338
自己株式	△2	△2
株主資本合計	6,964	6,986
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	647	495
為替換算調整勘定	△20	51
評価・換算差額等合計	627	546
少数株主持分	59	74
純資産合計	7,651	7,608
負債純資産合計	36,678	37,278

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	8,786
売上原価	7,374
売上総利益	1,412
販売費及び一般管理費	1,046
営業利益	366
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	23
その他	10
営業外収益合計	35
営業外費用	
支払利息	70
手形売却損	10
その他	13
営業外費用合計	95
経常利益	306
特別利益	
固定資産売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
たな卸資産評価損	81
固定資産廃棄損	3
特別損失合計	85
税金等調整前四半期純利益	220
法人税等	117
少数株主損失(△)	△1
四半期純利益	105

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:百万円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額
I 売上高	8,565
II 売上原価	7,051
売上総利益	1,514
III 販売費及び一般管理費	1,048
営業利益	465
IV 営業外収益	70
受取利息	1
受取配当金	19
その他	49
V 営業外費用	107
支払利息	48
手形売却益	10
その他	48
経常利益	428
VI 特別損失	2
固定資産廃棄損	2
投資有価証券売却損	0
税金等調整前四半期純利益	426
税金費用	201
少数株主利益	1
四半期純利益	223

## 6. 販売実績の状況

当第1四半期連結会計期間における販売実績を部門別に示すと、下記のとおりです。

部門	金額（百万円）	前年同期比（％）
界面活性剤	4,397	△ 0.2
樹脂	1,270	5.4
化成品	1,234	△ 0.6
特殊溶剤	1,855	10.2
その他	28	3.6
合計	8,786	2.6

(注) 1 金額には、消費税等は含まれておりません。

2 主要な相手先別の販売実績は、総販売実績に対する割合が10%未満のため、記載を省略しております。